

特別講義

明治大学 国際交流基金事業

「Researcher Mobility Grant」

ISEPにおけるデジタル工学、フランスのサイバーセキュリティ、そしてグローバルなIoTセキュリティの課題

2026年7月14日 火 2限 10:50~12:30

明治大学生田キャンパス中央校舎 0405教室

講演詳細（使用言語は英語です）

本講演では、データサイエンス、人工知能（AI）、サイバーセキュリティ、組み込みシステム／IoT（Internet of Things）などのデジタル工学分野を専門とするフランスのグランゼコール（Grande École）であるISEP（Institut Supérieur d'Électronique de Paris）を紹介し、その教育プログラムと国際的な取り組みについて概説する。また、フランスの大学院教育制度の概要と、その中でグランゼコールが果たしている特徴的な役割についても簡潔に説明する。

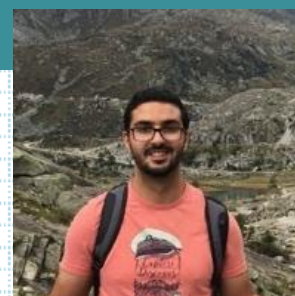
その上で、近年のフランスにおけるサイバーセキュリティの動向を取り上げる。特に、重要インフラ防護（Critical Infrastructure Protection）、データ保護（Data Protection）、およびサイバーセキュリティ人材不足（Cybersecurity Skills Shortage）といった課題に対する関心の高まりについて紹介する。

こうした背景を踏まえ、本講演ではIoTの基本概念を解説するとともに、IoT環境がなぜサイバー脅威にさらされやすいのかを説明する。さらに、デバイスのセキュリティ強化不足（Weak Device Hardening）、ソフトウェア更新機構の制約（Limited Update Mechanisms）、安全でない通信経路（Insecure Communication Channels）といった代表的なIoTセキュリティ上の課題について議論する。

最後に、講演者自身が取り組むIoTセキュリティ研究の一端を紹介し、ISEPにおける学術研究が教育活動と現実社会のサイバーセキュリティ課題にどのように結び付いているかを示す。また、日本との共通課題や今後の連携可能性についても議論したい。

講師紹介 Saad EL JAOUHARI

Enseignant-Chercheur, PhD ISEP
(Institut Supérieur d'Électronique de Paris)



主催：明治大学 理工学部専任教授／齋藤孝道

共催：明治大学 国際連携本部

問い合わせ先：saito@saitolab.org（齋藤孝道）